

令和4年度 第3回市政モニターアンケート
「仙台市敬老乗車証制度に関するアンケート調査」
報告書

令和4年12月
健康福祉局高齢企画課

1 調査概要

(1) 目的

敬老乗車証制度の今後のあり方を検討していくにあたり、幅広い世代の意見を把握する。

(2) 対象

令和4年度市政モニター 200名

(3) 実施機関

令和4年7月13日（水）～令和4年7月28日（木）

(4) 実施方法

郵送回収及びインターネットによる無記名式調査

(5) 回収結果

有効回答数187（回答率 93.5%）

(6) 集計結果の留意事項

- ・集計数値を小数点以下第2位で四捨五入しているため、回答比率の合計が100%とならないことがあります。
- ・複数の選択肢を選択する質問の回答割合は、回答数を有効回答数で除したものととしています。
- ・自由記述については、主なものを掲載しています。また、句読点や固有名詞は、表現を統一するために、回答原文の表現を一部修正して報告書に記載しています。

回答結果

問1. あなたの性別について、該当する番号に1つだけチェックをしてください。

選択肢	回答数	割合
男性	64	34.2%
女性	123	65.8%

n= 187

問2. あなたのお住まいを教えてください。

選択肢	回答数	割合
青葉区	54	28.9%
宮城野区	30	16.0%
若林区	26	13.9%
太白区	40	21.4%
泉区	37	19.8%

n= 187

問3. あなたの職業等について、該当する番号に1つだけチェックをしてください。

選択肢	回答数	割合
自営業(家族従業の方を含む)	5	2.7%
会社員、団体職員等	44	23.5%
パート、アルバイト、非常勤等	33	17.6%
学生	14	7.5%
家事専業、無職	82	43.9%
その他	9	4.8%

n= 187

問4. 同封の「調査へのご協力をお願い」をお読みになる前から、敬老乗車証という制度があることをご存知でしたか。

選択肢	回答数	割合
知っていた	157	84.0%
知らなかった	30	16.0%

n= 187

問5. 7月1日現在の年齢で、該当する番号に1つだけチェックをしてください。

選択肢	回答数	割合
10代	4	2.1%
20代	21	11.2%
30代	23	12.3%
40代	37	19.8%
50代	32	17.1%
60代	28	15.0%
70～74歳	28	15.0%
75～79歳	9	4.8%
80～84歳	4	2.1%
85～89歳	0	0.0%
90歳以上	1	0.5%

n= 187

問6. 現在、敬老乗車証の交付・利用状況について、該当する番号に1つだけチェックをしてください。

※70歳以上の方のみ回答

選択肢	回答数	割合
交付を受けて、利用している	35	85.4%
交付を受けているが、利用していない	2	4.9%
交付を受けていない	4	9.8%

n= 41

問7. 利用していない、または交付を受けていない理由について、あなたの考えにあてはまる番号すべてにチェックをしてください。

(問6で「交付を受けているが、利用していない」または「交付を受けていない」を選択した6名による回答)

選択肢	回答数	割合
自分で自動車やバイクを運転して移動するため	6	100.0%
家族や同居人が車で送迎してくれるため	3	50.0%
徒歩で日常生活の用が足りるため	1	16.7%
敬老乗車証を知らなかったため	0	0.0%
ふれあい乗車証を利用しているため	0	0.0%
身体状況等により、外出が難しいため	0	0.0%
バス停や地下鉄駅まで遠いため	1	16.7%
最寄りの路線バス・鉄道では敬老乗車証が利用できないため	0	0.0%
敬老乗車証への入金(チャージ)が面倒なため	2	33.3%
「敬老」という名称に抵抗感があるため	0	0.0%
その他	0	0.0%

n= 6

問8. 今後、交付対象年齢になったら敬老乗車証の交付を希望しますか。あなたの考えにあてはまる番号に1つだけチェックをしてください。

※70歳未満の方のみ回答

選択肢	回答数	割合
交付を受けたい	117	80.7%
交付を受けたくない・必要ない	7	4.8%
わからない	21	14.5%

n= 145

問9. 交付を希望しない理由は何ですか。あなたの考えにあてはまる番号すべてにチェックをしてください。
 (問8で「交付を受けたくない・必要ない」を選択した7名による回答)

選択肢	回答数	割合
自分で自動車やバイクを運転して移動するため	4	57.1%
家族や同居人が車で送迎してくれるため	1	14.3%
徒歩で日常生活の用が足りるため	2	28.6%
敬老乗車証を知らなかったため	0	0.0%
ふれあい乗車証を利用しているため	2	28.6%
身体状況等により、外出が難しいため	0	0.0%
バス停や地下鉄駅まで遠いため	1	14.3%
最寄りの路線バス・鉄道では敬老乗車証が利用できないため	0	0.0%
敬老乗車証への入金(チャージ)が面倒なため	2	28.6%
「敬老」という名称に抵抗感があるため	1	14.3%
その他	1	14.3%

n= 7

問10(1). 敬老乗車証制度の利用者の負担割合について、あなたが適切だと考えるものに1つだけチェックするとともに、選択肢の2または3を選んだ方は、適切と思われる負担割合を数字でご記入願います。

選択肢	回答数	割合
今の負担割合が適切だと思う	95	52.2%
負担割合は今より高くてもいいと思う	50	27.5%
負担割合は今より低いほうがいいと思う	4	2.2%
負担は無いほうがよいと思う	17	9.3%
わからない	13	7.1%
その他	3	1.6%

n= 182

「その他」回答の内容

- ・70才以上の方の収入状況がわからない。
- ・収入、財産の有無によって3パターンの設定はどうか。(基本1割だが…)
- ・70歳～75歳は2割、76歳～は1割。

問10(2). 敬老乗車証制度の年間利用上限額について、あなたが適切だと考えるものに1つだけチェックするとともに、選択肢の2または3を選んだ方は、適切と思われる上限額を数字でご記入願います。

選択肢	回答数	割合
今の上限額が適切だと思う	85	46.4%
上限額は今より高い方が良くと思う	11	6.0%
上限額は今より低くても良くと思う	47	25.7%
上限は無い方が良くと思う	18	9.8%
わからない	21	11.5%
その他	1	0.5%

n= 183

「その他」回答の内容

- ・70才以上の方の収入状況がわからない。

問10(3). 敬老乗車証制度の対象年齢について、あなたが適切だと考えるものに1つだけチェックするとともに、選択肢の2または3を選んだ方は、適切と思われる対象年齢を数字でご記入願います。

選択肢	回答数	割合
今の対象年齢が適切だと思う	113	63.5%
対象年齢は今より高くても良いと思う	19	10.7%
対象年齢は今より低い方が良いと思う	40	22.5%
わからない	5	2.8%
その他	1	0.6%

n= 178

「その他」回答の内容

- ・人によってちがってよい。

問11. 敬老乗車証制度を利用することで、どのような効果があると思うか、あなたの考えにあてはまるものすべてにチェックをしてください。

選択肢	回答数	割合
高齢者の社会参加を促す効果がある。	127	67.9%
高齢者の外出を促す効果がある。	172	92.0%
高齢者の消費を促す効果がある。	117	62.6%
高齢者の健康増進や介護予防の効果がある。	144	77.0%
その他	27	14.4%

n= 187

「その他」回答の内容

- ・乗用車以外に行動ツールがあることを知ってもらう。
- ・運転免許返納を判断するために必要だと思います。
- ・自動車免許返納を促すことができる。
- ・高齢者の交通事故防止。
- ・高齢者の運転による事故が減る。
- ・高齢者によるマイカー利用傾向から公共交通機関の利用促進にシフト出来るのではないかと思います。
- ・年金の少ない高齢者にとって有難い制度で福祉面での効果があると考えます。
- ・高齢者の自動車免許証返納を促し、危険運転による事故防止にもつながるため。
- ・自身で自動車を運転することが減り、高齢者が加害者となる交通事故の減少に一役買う。
- ・低額の高齢者年金の補填（てん）になる。
- ・自家用車を手放す。
- ・運転免許証を返納するきっかけになる。
- ・高齢者の運転操作ミスによる事故防止。
- ・特にないと思う。
- ・自動車運転免許証返納への転換。
- ・コミュニケーションの機会を広げ、ひいては認知症ひき込みの予防効果。
- ・社会への感謝の心が強まる。
- ・地域社会の融和に効果がある。（地域有志での友好（イベント）に役立っている）
- ・高齢者の免許証の早期返納につながる。つながれば良いと思う。
- ・高齢者の免許返納・交通事故抑制にもつながる。
- ・運転免許証返納で、交通安全に寄与できる。
- ・高齢者の活躍が期待されていることを感じさせる。
- ・車がない、独居などを理由に通院や買物など生活に必要な人のみ交付を受ければよい。
- ・運転をやめる決心につながってくると思います。

- ・ 認知症予防。
- ・ バス会社の赤字対策や利益になるだけ。
- ・ 認知症の予防・改善。

問12. 敬老乗車証制度が利用しやすくなるために、今後改善する必要があると思うことは何ですか。あなたの考えにあてはまるものに、3つまでチェックをしてください。

選択肢	回答数	割合
制度の周知や説明の充実	94	50.3%
入金(チャージ)場所の増設	129	69.0%
敬老乗車証を利用できる交通機関を増やす	114	61.0%
敬老乗車証の名称変更	30	16.0%
今のままでよい	19	10.2%
その他	9	4.8%

n= 187

「敬老乗車証を利用できる交通機関を増やす」に付随する記述

- ・ 仙台市の事業なので、仙台市内の駅間限定、の条件付きで。

「敬老乗車証の名称変更」に付随する自由記述

なし

「その他」回答の内容

- ・ 市役所ではなくても手続きできるようにしてください。
- ・ 現行のカードデザインは、あまりにも素っ気ないものになっています。もっと、親しみやすいデザインを採用したカードに改善すべきです。
- ・ この制度は基本的に不要であると考えています。むしろ学生向けの通学定期券を無償化してあげてください。
- ・ 選択肢2の案ですが、証明書発行センター若しくは市民センターで入金出来れば利便性が上がるのでは。
- ・ 乗車証カードの識別機能を付けて不正使用を防止する。
- ・ 高齢で歩行に支障の出ている方はバス・地下鉄の単独での使用が難しいと思うので、以前にも制度としてあったタクシーの初乗り運賃助成の制度の復活を検討してほしいと思います。
- ・ 1年間の利用額に応じて(一定額以上)チケット割引とか、クオカードとかももらえる、などの特典。
- ・ 保険証やマイナンバーカードと統一できたら便利かも。

問13. 敬老乗車証制度は、高齢者の社会参加の促進を主な目的とした制度ですが、今後あなたが充実を望む福祉サービスであてはまるものに3つまでチェックをしてください。

選択肢	回答数	割合
介護予防・認知症対策等のサービス (介護予防教室、認知症予防等)	95	50.8%
日常生活の支援サービス (配食、見守り、移動販売、介護用品の提供等)	121	64.7%
自宅における訪問介護サービス (ホームヘルパーサービス、訪問介護等)	87	46.5%
施設における介護サービス (デイサービス、特別養護老人ホーム等)	57	30.5%
生きがいづくりや社会参加、交流を支援するサービス (敬老乗車証、老人福祉センターの運営等)	117	62.6%
その他	11	5.9%

n= 187

「その他」回答の内容

- ・ 災害対策も含め支援の確保が難しい要支援者対策の充実（ケアマネ、民生含めた地域支援）。
- ・ 障害者サービス。
- ・ 寝たきりにならないためにも、すこやかに健康寿命を延ばすことができるような、生涯成長の学びや社会貢献できる集いの場が必須だと思います。介護や医療の費用を増大させないためにも、健康寿命を促進する「生きがい」、「人材活用」など、高齢者の活性化の視点が欠かせないと思います。
- ・ 高齢者移送支援、移動販売。
- ・ 高齢者の就業支援。
- ・ 民間施設の割引を取り入れるのはいかがでしょうか。例えば、カーブスなどは高齢者が多数通っています。割引制度があれば、公的な施設やサービスを増やさずに済むものもあると思います。また入浴サービスに重きをおいたデイサービス(サボンのようなところ)が増えると良いと思っています。※荒巻本沢あたり
- ・ 町内や会社OB会やいくつかの体を動かす集まりに参加しているが、退会や不参加が多くなる年齢は概ね80才が分岐年齢の印象。乗車証による外出機会を増すと同時に手軽に気軽に、未経験でも参加意欲を増進させる機会があればと考える。(思いつかないが)※春季に学区内で4種の協議大会が開催されるが、ほとんど参加申し込みがない。(町内会回覧で参加募集)体より脳を刺激する行事などを好む高齢者が増加?!パソコンに代表されるIT分野の少人数集まり、やさしい勉強会などなら参加増える?!
- ・ 高齢者による、高齢者のサポート、ボランティアの機会が増えること。生きがいの創造につながる…と思う。
- ・ 地域でのサークル作り等。引き込み、中々出歩けない世の中、近所の方々と楽しい時間を少しでも交流出来る場があれば、リフレッシュになると思う。
- ・ 現行の福祉サービスのほか、健康寿命の維持、生きがいにつなげるため、就労のあっ旋、ボランティア活動の紹介などを充実して欲しい。このことにより、元気な高齢者の増加につながり、福祉サービス費用の低減にもなる。

問14. 本市では現在、敬老乗車証制度を今後も持続的に運用していくために、制度のあり方を検討しています。制度のあり方について、自由にご意見をお聞かせください。

【制度の目的や運用等について】

- ・ 敬老乗車証制度があると、高齢者運転免許返却促進（高齢者交通事故防止）、高齢者の社会参加と健康維持による要介護年齢の引き上げ等に寄与できると思う。
- ・ 金額も年金世帯には嬉しいもので、利用金額が少ないとのことですが、その分仙台市に負担がかからなく、良い結果ではないかと思えます。
- ・ 今の上限額や負担割合では、自分が対象年齢になる頃には、制度自体がなくなってしまうのではないかと思います。もう少し、負担割合を高くするかそこまで利用しないと思うので限度額を低くしてでも制度を維持してほしいです。
- ・ 自身ももうすぐこの制度を利用できる年令ですが、金額が安すぎです。もう少し高くして良いと考えます。元氣な年寄りに大変有利になっていると思います。全て市税でまかなっているのであれば、もっと自宅(在宅)で困っている高齢者の福祉の方に経費をまわして欲しいと考えます。敬老乗車証の負担増に賛成いたします。
- ・ 少子高齢社会の中で、いかにこれからの日本を背負っていく若者が生きやすい世の中にしていくかが喫緊の課題だと考えますし、財政の配分をそこに振り分けるべきと考えます。育児のしやすい環境や誰もが家庭の収入に関係なく高校や大学に行けるような環境づくりが必要です。制度を大胆に縮小し、余った予算を育児・修学乗車制度の創設に振り分けてみてはいかがでしょうか。
- ・ 現状は利用率、約半分であり、人気がなくとも必要性も認められない。制度を廃止して、介護問題や認知症対策等、市民が最も希望している分野にふりむける事が、仙台市としてやるべき行政でないか。財政がきびしい以上、優先順位を明確にして行政を運営して欲しい。利用率の悪い制度を無理して継続する事は税金の無駄使いと判断できます。
- ・ 高齢者によるマイカーの事故防止やいきがいの創出のため必要な制度と考えています。例えば免許証を返還した年は利用額をアップする等も良いかと思えます。また高齢者の方にとっては、駅やバス停まで行くことも大変な方も多いと思うので、民間企業等と連携しデマンド型交通等を導入することにより。利用者の利便性を高めるとともに、事業運営の効率化を図る等の工夫が必要だと思えます。

【負担割合、年間利用上限額、対象年齢、交付対象について】

- ・ 高齢化が進んでいる中で、一律の補助を行う必要は無いと思います。金銭的に余裕有る人とそうでない人の負担を段階的に分けて、財政負担を減らし、制度を継続して欲しい。
- ・ 現在の1割負担だと市の財政悪化となり、制度の廃止や4割以上の負担増となる見込みなら、悪化する前に2-3割負担としても良いと考えます。
- ・ 制度維持のために自己負担金額が上がるのは仕方ないこととは思いますが、免許返納者には自己負担の金額を下げるなどの措置があればいいのではないかと思います。
- ・ 料金(購入者が負担する)が1割から値上がりすると年金暮らしの高齢者はキビシイ…しかし人口減少等で1割負担もどんどん厳しくなっていくと思うので、収入が多くある人は、1.5割等にするとか…高齢でも元気に働いている人がいますので、ある程度収入が高い人は1.5か2割にする…
- ・ 難しいとは思いますが、土、日曜、祝日などに利用する場合は2割負担してもらおうなど平日は今のまま1割負担で。
- ・ 65歳以上3割負担、上限6万円を前提として、半年で利用額が上限に達した場合には、更に3万円を入金可能とする。
- ・ 中心部から遠い地域の方は大変だと思う。仙台駅前までバス運賃が片道1,000円近くなる所にお住まいの方は大変だと思う。地域格差をなくすためにそういう方は上限を少し上げてはどうでしょうか。
- ・ 免許証を返還した年は利用額をアップする等も良いかと思えます。
- ・ 65歳から70歳まで使える乗車証を作って、利用者を増やす。ただし、負担割合は高めに設定する。
- ・ 自家用車を所有している世帯を省く。等、交通手段に車が無い世帯への優遇に変更。または、車を所有していれば負担割合を1割ではなく2割等。免許証の返還をされた方への負担割合を優遇等。→70才以上全ての方を平等に扱うのではなく、このような制限のようなものを設けても良いかと思う。
- ・ 負担金額に比べて利用回数が少ない人にとっては、負担に見合っていないと思う。利用する人が、それぞれ必要とする便益に応じて、負担と給付を選択できる方式に改めて欲しいと思います。

【制度の利便性について】

- ・ 普段のスーパーや郵便局、その他カードの発行場所が多くあればよいと思います。
- ・ 車の運転を控えてこの制度を利用するためにもコンビニでの入金が出来ると便利だと思います。
- ・ icascaと同じように、切符売り場などでも簡単にチャージできればいいなと思いました。（システム改修などものすごく大変ではありますが、効果はあると思います）
- ・ チャージできる場所が住まいの市民センターとか地域包括支援センターとか近くでできるように考えてほしいものです。
- ・ 宮城地区ですと、愛子観光の路線バスやJR、タクシーを利用する方が多いです。是非、利用できる機関を増やしてほしいです。
- ・ スマートフォンでのチャージ及び乗車証として利用可能なアプリの開発。

【制度の周知について】

- ・ 何かの団体のイベントやサービスで、高齢者を対象とした地域の企画をテレビや新聞で告知するなどし、足を運ぶ際は敬老乗車証もそこで活用できると伝えることで何かしら社会進出を促せないでしょうか。
- ・ 私はまだ20代だからか、この敬老乗車証制度の存在を知りませんでした。きっと70代以上の方でも知らない人も多いと思います。もっと知ってもらい必要があると思いました。チラシを配ったり、広告を駅に張ったり、もっと認知してもらいたいですね。そしてお年寄りの方が外に出る機会を増やし、みんな健康で長生きしてほしいです。
- ・ 市政だよりで、利用状況を周知する。
- ・ 県の公安委員会と連携していただき、高齢者の免許更新時、認知機能等の状況をみながら、免許証返納の代わりとして、敬老乗車証申請という選択肢もあるということをお勧めしていただきたい。
- ・ 目的は社会参加なのに、参加出来る所がわからない。もっとアピールがほしい。
- ・ 利用している方の年一回のアンケートの実施。年代別のアンケート実施して認知度を上げていくことで良い意見が出てくると思います。

【上記以外】

- ・ “高齢者の社会参加の促進”が主な目的の制度なのであれば、「敬老」のネーミングは合っていないように思います。
- ・ 現在の「敬老乗車証制度」から「高齢者福祉乗車証制度（通称シニアパス）」に改めるというのはいかがでしょうか。
- ・ 高齢者とか後期高齢者とかの名称も若い時から不愉快でした。もう少しネーミングにも配慮が必要なのでは。
- ・ 敬老乗車証のネーミングを前向きでポップなネーミングにして、多くの老人が持っているだけで、うれしくなるようにすると、認知度も高くなり、利用が増えると思います。
- ・ 入退時に「ランプ」がつかない方が良い。カードの「表」に仙台らしさの絵・写真などをプリントした方が良いと思う。
- ・ 懸念事項として不正使用をいかに防止するかの対策が必要です。金額チャージ時に使用履歴をチェックし確認する事は必要です。一例ですが。
- ・ ピークタイム時の利用制限や、利用者が少ない時間に限定した制度を作ることで、公共交通機関の時間ごとの利用者の平準化を同時に進めてほしい。高齢者にとっての利便性のみならず、仙台市におけるモビリティ全体を便利にするような制度設計をしてほしい。
- ・ 財源の確保が必要だと思うので寄付できる制度があるといいなと思います。例えば1%分制度に貢献できるチャージや定期販売など。社会人だけでなく、学生も参加できるといいかもしれません。若い頃からの社会参加も良い機会になると思います。
- ・ 運用制度を検討し、深めて行くために、最初は試行期間を設けて運用ルールを決めないで試行してみることを実行して、その結果、どういう方向に向かったら良いかを判断するようにして見たらいかがでしょうか？